News Release

金沢大学
KANAZAWA UNIVERSITY

令和６年５月１０日

各報道機関文教担当記者　　殿

金沢大学，立教大学，北陸銀行，ＮＴＴデータが共同で，

新規ビジネス創発手法「DCAP」を用いた特別講義を実施

この度，金沢大学は，**学校法人立教学院 立教大学，株式会社北陸銀行，株式会社ＮＴＴデータと共同で，ＤＸ人財の育成を通じて地域活性化を支援する夏期特別講義を，下記のとおり開講します。**

つきましては，事前の取材・報道方よろしくお願いします。

開講日：【座学】令和６年８月２０日（火）～８月２２日（木）
【中間発表会】令和６年９月６日（金）
【最終報告会】令和６年９月２０日（金）
座学後，最終報告会までにフィールドワークを実施します。

会　場：金沢大学駅前サテライト（金沢市広岡１-２-２０Ｍビル）

参加募集対象：金沢大学生とともに新しいビジネスを創発したい企業
（定員：最大６社あるいは１８名）
社会人参加費：チーム参加１００，０００円（税込）※３名まで
個人参加　　５０，０００円（税込）

申込締切：７月３１日（水）
申込フォーム　https://forms.gle/qoq3BSJ2BdVxjGbG6

【本件照会先】
人間社会研究域地域創造学系　西本
E-mail：nishimotos@staff.kanazawa-u.ac.jp
TEL：０７６－２３４－４１２１

【広報担当】
社会共創推進部地域共創支援課 杉野
E-mail：chiiki@adm.kanazawa-u.ac.jp
TEL：０７６－２６４－５２６９

※本ニュースリリースは金沢大学、立教大学、株式会社北陸銀行と株式会社NTTデータが共同で配信しています。重複して配信されることがありますが、ご了承願います。

2024 年 5 月 10 日

国立大学法人 金沢大学
学校法人立教学院 立教大学
株式会社北陸銀行
株式会社ＮＴＴデータ

金沢大学、立教大学、北陸銀行、ＮＴＴデータが金沢市で地域活性化支援の特別講義を実施

～新規ビジネス創発手法 DCAP を活用し、能登半島地震の復興支援等検討～

国立大学法人 金沢大学（石川県金沢市角間町、学長：和田　隆志、以下：金沢大学）、学校法人立教学院 立教大学（東京都豊島区、総長：西原　廉太、以下：立教大学）、株式会社北陸銀行（本店：富山県富山市、代表取締役頭取：中澤　宏、以下：北陸銀行）、株式会社ＮＴＴデータ（本社：東京都江東区、代表取締役社長：佐々木　裕、以下：ＮＴＴデータ）の 4 者は共同で、DX 人財の育成を通じて地域活性化を支援する夏期特別講義を、2024 年 8 月 20 日から金沢市において開始します。

本講義は、新規ビジネスの立ち上げや能登半島地震からの「創造的復興」につながるビジネス開発を行いたい企業や社会人、学生等を対象としています。

検討にあたっては、立教大学とＮＴＴデータによる「DCAP（Digital Corporate Accelerate Program）(注 1)」の共同研究成果を活用した新規ビジネス創発手法を用います。また、北陸銀行とＮＴＴデータは、参加者が本講義を通じて検討したビジネスアイデアを実際に事業化するためのフィールドの提供などの支援を行います。

【背景】

本取り組みは 2023 年度から金沢大学、立教大学、北陸銀行、NTT データの 4 社共同で開始し、今回で 2 回目となります。昨年度の特別講義においては、観光をテーマにグループでビジネスアイデア創発を行い、3 つのビジネスモデルを作りました。成果発表時の講評者として参加された観光業界の方からは、「短期間でユニークなアイデアがまとまった」という評価を得ています。講義の参加者からは、「新規事業の立ち上げをする際のビジネスプランの立て方を学ぶことができた」「新規事業立案の大まかな流れについて理解できた」「ぜひ、同僚や友人などに紹介したい」という声も聞かれました。こうした状況を踏まえ、本取り組みを継続することで地域における DX 人材の輩出及び地域 DX の支援に資すると考え、今年度も開催を決定しました。

【今年度のテーマ】

今年度のテーマは 2024 年 1 月 1 日に発生した能登半島地震からの創造的復興を掲げています。金沢大学の学生や石川県出身の学生たちの多くが被災し、帰省先で避難所生活を経験した学生も少なくありません。未来へ向けて震災からの復旧にとどめず、「能登ブランド」を一層高める「創造的復興」を目指すビジネスが、いま強く求められています。こうした被災した学生たちの故郷への思いと、企業の復興への使命感を結実させる支援をすべく設定しました。

【特別講義の概要】

特別講義は 3 日間の座学と 4 週間のフィールドワークです。企業で参加する場合は、自社の社員と金沢大学の学生を中心としたチームを構成し、企業は自社が持ち込んだテーマで学生とともにビジネスアイデアをまとめ上げることができます。企業単位ではなく、社会人個人での参加も可能です。学生は、金沢大学の学生を中心に、起業や新規ビジネスの創出、震災復興に関心のある学生を広く全国から募る予定です。

参加者は、ビジョンオリエンテッド(注 2) とユーザーオリエンテッド(注 3) を統合した DCAP の手法を学修し、実際のテーマに即したビジネスを検討します。学修後は、立教大学ビジネスデザイン研究所が発行する修了証を得ることができます。

【特別講義実施における各社の役割】

・金沢大学、北陸銀行：参加者の募集、およびビジネスを実現するためのフィールドの提供
・立教大学：ＮＴＴデータと共同研究した成果を提供し、講師を派遣
・ＮＴＴデータ：DCAP の提供、および講義のテーマを選定し、これらのインプットセミナーを実施

なお、北陸銀行とＮＴＴデータは共同で、本講義で検討したビジネスの事業化に向けた支援を行います。

【今後の展望】

本取り組みにより、金沢大学と立教大学と北陸銀行は、地域において優秀な学生との連携が進み、さらなる産学連携の推進を支援していきます。

ＮＴＴデータは、社会課題解決をしたい注力テーマの一つとして地域創生を掲げており、今回の取り組みを全国各地に展開し、学生と社会人の融合を図りながら、地域における DX の推進を、地域社会と連携して、実現をしていきます。

(注 1)DCAP(Digital Corporate Accelerate Program)とは、NTTデータがこれまでの新規ビジネス開発の経験をもとに作成。企業のデジタル化を支援するための新規ビジネス開発を行う方法。
(注 2)ビジョンオリエンテッドとは、はじめに社会課題を解決するビジョンを作成し、それから具体的なビジネスを考える方法のことです。
(注 3)ユーザーオリエンテッドとは、観察することから課題を見つけ出し、それを解決するためのビジネスを考える方法のことです。

＊文章中の商品名、会社名、団体名は、各社の商標または登録商標です。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社NTTデータ
ソーシャルデザイン推進室
濱、花谷
TEL: 050-5546-9965

金沢大学生とともに新しいビジネスを創発しよう

定員
最大6社
あるいは
18名

金沢大学　社会人向け特別講座

ビジネスシミュレーション

2024
8.20[火]、21[水]、22[木]
9.6[金]、20[金]
いずれも 9:00 ~ 17:00

会場：金沢大学金沢駅前サテライト

自社テーマ持ち込み可能！！

テーマの具体例

- 雨の金沢の新しい観光サービスを考えよう
- 能登復興のための、能登の名産を活かした新しい商品・サービスを考えよう
- 伝統工芸品のこれまでにない新しい使い方を考えよう
- ○○社の新製品・新サービスを考えよう

金沢大学、立教大学、株式会社北陸銀行、株式会社NTTデータは共同で、夏期特別講義を開講します。
地域活性化を実現する、新規ビジネスの創発手法の修得を目指します。
参加企業は、学生とともに自社の社員がチームを組み、自社が設定するテーマでの新規ビジネスアイデアを作成することができます。

昨年度参加者の声

新規事業を立ち上げる際のビジネスプランの立て方を学ぶことができた（20代社会人）

新規事業立案の大まかな流れについて理解できた（40代社会人）

今回学んだ方法は、0から1を生み出すための方法が明確に分けられていて、活用しやすい（20代学生）

企画、営業、人事の方に薦めたい（30代社会人）

講　師

花谷 晶弘
金沢大学非常勤講師
立教大学ビジネスデザイン研究所特任研究員

角谷 恭一
金沢大学非常勤講師
立教大学ビジネスデザイン研究所特任研究員

お問合先

北陸未来共創フォーラム 地元人材育成分科会
（金沢大学：社会共創推進部地域共創支援課）
お問合せURL：https://hokuriku-mirai.jp/inquire/

お申込み

Webフォーム：https://hokuriku-mirai.jp/inquire/
または、右記のQRコードからアクセスしてください
申込締切：7月31日(水)

講義内容

立教大学とNTTデータのビジネス創発手法「DCAP」を使って、金沢大学が実施。講義修了者には、立教大学ビジネスデザイン研究所から修了証を授与いたします。
（金沢大学と立教大学は、2021年に「連携・協力に関する協定」を締結しています）

	AM 9:00-12:00	PM① 13:00-15:00	PM② 15:00-17:00
第1日 8/20(火)	オリエンテーション チームビルディング	インプットセミナー	課題探索
第2日 8/21(水)	アイデア発想	アイデア収束	アイデア決定
第3日 8/22(木)	アイデア可視化	アイデア強化	中間発表に向け アイデア決定
企業訪問・フィールドワーク			
第4日 9/6(金)	中間発表	ビジネスデザイン	事業計画策定
企業訪問・フィールドワーク			
第5日 9/20(金)	発表準備	最終発表	講評 クロージング

参加方法

チーム参加

- **社員3名まで**のチームとして参加
- 自社テーマによるビジネス創発ができる
- ビジネスアイデアは自社ビジネスとして活用可能

個人参加

- 企業からの派遣もしくは、自主的な参加
- 各自の持ちこんだテーマをチームで検討し、その中から選ばれたテーマで、ビジネスを創発する
- ビジネスアイデアは、参加者が活用可能

費　用

チーム参加　1チーム　10 万円　※3名まで

個人参加　1名　5 万円

定　員

最大6社　あるいは18名

会　場

金沢大学
金沢駅前サテライト
金沢市広岡1-2-20Mビル

お問合先

北陸未来共創フォーラム 地元人材育成分科会
（金沢大学：社会共創推進部地域共創支援課）
お問合せURL：https://hokuriku-mirai.jp/inquire/

お申込み

Webフォーム：https://hokuriku-mirai.jp/inquire/
または、右記のQRコードからアクセスしてください
申込締切：7月31日(水)

【備考】・講座は写真撮影を行う予定です
・受講される方には、本講座を通じて開示される秘密情報(開示された時点で公知されていない情報)の守秘義務を求めます
・お預かりした個人情報は、本事業に関わる目的にのみ使用します

新しい発見、新しい結合、新しい価値。北陸未来共創フォーラム 産学官金プラットフォーム for Innovation challenge
金沢大学 KANAZAWA UNIVERSITY
北陸銀行
立教大学 RIKKYO UNIVERSITY
NTT DATA Trusted Global Innovator